

# 5年生 UNIT1

教科の枠をこえたテーマ

私たちは誰なのか Who we are

セントラルアイデア

様々な社会における文化には、それぞれに歴史や背景がある

重要概念 Key Concept

視点 Perspective (どのような見方があるのか)

原因 Causation (それはなぜそうなのか)



「学校や教室にも異文化ってないかな？」  
「背景は何だろう？」  
皆でアイデアを出し合い、グルーピング



「異文化って、何だろう？」そんな問いから始まったUNIT1では、まずは世界中の様々な異文化とその背景について調べ、掲示や発表を通して共有。この活動を通し、一見変わった異文化にもその理由があり、異文化は尊重すべきものであることに気がきました。

続いての活動のテーマは「身の回りの異文化」。班に分かれてブレインストーミングを活用しながら普段の生活で出会う様々な文化を挙げ、グルーピングし、その背景を皆で考えました。

【自己評価シートより、児童のコメント】

- ・人それぞれ自分だけの特別な異文化を大切にしていることが分かった。
- ・どんな異文化にも必ず背景がある。異文化の背景を知ることによってその文化を受け入れることができる。
- ・背景は「分かった」と思っても、「じゃあ何でこれはこうなんだ」とどんどん深く調べたくなった。

# 5年生 UNIT2

教科の枠をこえたテーマ

私たちはどのような場所と時代にいるのか Where we are in place and time

セントラルアイデア

各地域には、独自の歴史や文化、自然的特徴がある

重要概念 Key Concept

関連 Connection (それはほかのものとどのようにつながっているか)

変化 Change (それはどのように変わっているか)

戸隠について、トピックを自分で決めてプレゼンテーション。人気はやはり戸隠伝説に関するものでした。その後、みなで現地を訪れました。



続いては、自分の住む地域の魅力探し。調べた内容は写真や模造紙を使ってまとめ、発表会をしました。

私たちの住むこの地域には、魅力がたくさんあります。

まずは長野市随一の観光地、戸隠について歴史や文化、自然とそれぞれに興味のある事柄を調べた後、遠足で戸隠を訪れてその素晴らしさを体感してきました。実際に現地に行ってみると、道端にはたくさんの看板や資料があり、インターネットによる調べ学習では学べないたくさんの知識を得ることができました。

続いて取り組んだのは、それぞれの児童が住む地域の魅力探しです。寺院でもよし、自然でもよし、お祭りなどの無形文化でもよし。自分の足で現地を訪れたり、お家の人のつながりから地域に詳しい方にお話を聞いたり。それぞれが自分で情報収集の方法を考えてまとめました。また、自分が調べた地域の魅力が何とどうつながっているのか、についても探究を進めました。